

●自己資本の充実度に関する事項

	2022年9月期		2023年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額合計	7,808	312	7,887	315
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	7,808	312	7,887	315
(i) ソブリン向け	10	0	10	0
(ii) 金融機関向け	851	34	1,069	42
(iii) 法人等向け	3,044	121	2,990	119
(iv) 中小企業等・個人向け	307	12	290	11
(v) 抵当権付住宅ローン	690	27	590	23
(vi) 3か月以上延滞等	8	0	8	0
(vii) 取立未済手形	0	0	0	0
(viii) 出資等	1,056	42	1,059	42
(うち出資等のエクスポージャー)	1,056	42	1,059	42
(うち重要な出資のエクスポージャー)	—	—	—	—
(ix) 他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	757	30	752	30
(x) 信用協同組合連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	150	6	150	6
(xi) その他	932	37	965	38
② 証券化エクスポージャー	—	—	—	—
③ 経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	—	—	—	—
④ 他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	—	—	—	—
⑤ CVAリスク相当額を8%で除して得た額	—	—	—	—
⑥ 中央清算機関関連エクスポージャー	—	—	—	—
ロ. オペレーショナルリスク	458	18	480	19
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	8,266	330	8,367	334

(注) 1. 所要自己資本の額 = リスク・アセットの額 × 4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、地方公共団体金融機構、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会等のことです。

4. 「3か月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」、「金融機関及び第一種金融商品取引業者向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

5. 「その他」とは(i)～(x)に区分されないエクスポージャーです。具体的には、上記(i)～(x)に含まれない、貸出金、未収利息、固定資産、仮払金等です。

6. オペレーショナル・リスクについては、当組合は基礎的手法を採用しています。

$$\frac{\text{＜オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法＞}}{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15\%}} \div 8\%$$

直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数

7. 単体総所要自己資本額 = 単体自己資本比率の分母の額 × 4%

●信用リスクに関する事項(証券化エクスポージャーを除く)

○信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の残高(業種別及び残存期間別)

(単位: 百万円)

エクスポージャー区分 地域区分 業種区分 期間区分	信用リスクエクスポージャー期末残高						3か月以上延滞エクスポージャー		
	うち、貸出金		うち、債券		うち、デリバティブ取引				
	2022年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2023年9月期	
国 内	12,773	13,250	3,263	3,005	4,158	3,854	—	22	25
国 外	1,532	1,553	—	—	1,532	1,553	—	—	—
地域別合計	14,306	14,803	3,263	3,005	5,690	5,408	—	22	25
製造業	1,148	1,150	—	—	1,148	1,150	—	—	—
農業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
林業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	397	494	—	—	397	494	—	—	—
情報通信業	1,183	1,074	—	—	578	469	—	—	—
運輸業	392	397	—	—	392	397	—	—	—
卸売業、小売業	976	769	—	—	689	481	—	—	—
金融・保険業	5,659	6,851	—	—	1,495	1,585	—	—	—
不動産業	400	400	—	—	400	400	—	—	—
各種サービス	187	128	—	—	187	128	—	—	—
国・地方公共団体等	400	300	—	—	400	300	—	—	—
個人	3,264	3,005	3,263	3,005	—	—	—	22	25
その他	293	231	—	—	—	—	—	—	—
業種別合計	14,306	14,803	3,263	3,005	5,690	5,408	—	22	25
1年以下	3,155	3,843	640	628	500	700	—	—	—
1年超3年以下	1,211	812	14	11	1,197	800	—	—	—
3年超5年以下	937	1,221	46	40	891	1,180	—	—	—
5年超7年以下	928	734	60	47	867	687	—	—	—
7年超10年以下	593	481	114	97	479	383	—	—	—
10年超	4,038	3,720	2,385	2,164	1,653	1,555	—	—	—
期間の定めのないもの	3,440	3,990	1	15	100	99	—	—	—
残存期間別合計	14,306	14,803	3,263	3,005	5,690	5,408	—	—	—

(注) 1. 「3か月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞しているエクスポージャーのことです。

2. 上記の「その他」は、裏付となる個々の資産の全部又は一部を把握することが困難な投資信託等及び業種区分に分類することが困難なエクスポージャーです。具体的には現金、その他資産、固定資産等が含まれます。

3. CVAリスクおよび中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。

4. 貸出金の未収利息については、残存期間別の各期間には振り分けせず、全額を「期間の定めのないもの」の合計欄に計上しています。

○一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の残高及び前年同期比増減額

(単位: 千円)

項目	2022年9月期		2023年9月期	
	残高	前年同期比	残高	前年同期比
一般貸倒引当金	9,916	△ 176	8,900	△ 1,016
個別貸倒引当金	13,053	△ 1,742	16,129	3,076
貸倒引当金合計	22,970	△ 1,918	25,029	2,059
貸出金償却額	—	—	—	—

○リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等

(単位:百万円)

告示で定めるリスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	2022年9月期		2023年9月期	
	格付有り	格付無し	格付有り	格付無し
0	—	565	—	374
10	—	100	—	100
20	200	4,256	400	5,348
35	—	1,971	—	1,971
50	2,468	1	2,012	0
75	—	409	—	409
100	1,619	2,295	1,604	2,360
150	100	—	199	—
250	—	310	—	317
1250	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合 計	4,388	9,909	4,216	10,882

(注) 1.格付は、適格格付機関が付与しているものに限り、
 2.エクスポージャーは、信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しています。
 3.コア資本に係る調整項目となったエクスポージャー(経過措置による不算入分を除く)、CVAリスクおよび中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。

●信用リスク削減手法に関する事項

○信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位:百万円)

ポートフォリオ	信用リスク削減手法	適格金融資産担保		保 証		クレジット・デリバティブ	
		2022年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2023年9月期
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー		1	13	—	—	—	—
①	ソブリン向け	—	—	—	—	—	—
②	金融機関向け	—	—	—	—	—	—
③	法人等向け	—	—	—	—	—	—
④	中小企業等・個人向け	—	—	—	—	—	—
⑤	抵当権付住宅ローン	—	—	—	—	—	—
⑥	3か月以上延滞等	—	—	—	—	—	—
⑦	取立未済手形	—	—	—	—	—	—
⑧	出資等	—	—	—	—	—	—
	(うち出資等のエクスポージャー)	—	—	—	—	—	—
	(うち重要な出資のエクスポージャー)	—	—	—	—	—	—
⑨	他の金融機関等の対象資産調達手段のうち対象普通出資等に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—
⑩	信用協同組合連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	—	—	—	—	—	—
⑪	その他	1	13	—	—	—	—

(注) 1.当組合は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。
 2.「その他」とは①～⑩に区分されないエクスポージャーです。具体的には、貸出金、未収利息、固定資産、仮払金等です。

●派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

該当事項はありません。

●信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

該当事項はありません。

●証券化エクスポージャーに関する事項

該当事項はありません。

●出資等エクスポージャーに関する事項

○出資等エクスポージャーの貸借対照表計上額等

(単位:百万円)

区 分		出資等エクスポージャー							
		うち、充買目的有価証券に該当するもの			うち、その他有価証券で時価のあるもの				
		貸借対照表計上額	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評 価 差 額		
						うち益	うち損		
上 場 株 式	2022年9月期	2,915	—	—	1,165	2,915	1,749	1,750	1
	2023年9月期	4,946	—	—	1,165	4,946	3,780	3,780	—
非 上 場 株 式 等	2022年9月期	235	—	—	—	—	—	—	—
	2023年9月期	235	—	—	—	—	—	—	—
合 計	2022年9月期	3,150	—	—	1,165	2,915	1,749	1,750	1
	2023年9月期	5,181	—	—	1,165	4,946	3,780	3,780	—

(注) 1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいており、
 2.その他有価証券の評価差額は貸借対照表では認識されますが損益計算書では認識されません。

○子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額等

該当事項はありません。

○出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位:百万円)

		売却額			株式等償却
		売却額	売却益	売却損	
出資等エクスポージャー	2022年9月期	—	—	—	—
	2023年9月期	—	—	—	—